

2016年度

第19回 ペット法学会・学術集会シンポジウム

テーマ：「動物愛護法と科学的知見」

日時： 2016年11月12日(土)

午前10時30分から午後5時頃まで(午前10時20分開場予定)

場所：金沢工業大学 東京虎ノ門キャンパス 13階1301会議室

〒105-0002東京都港区愛宕1-3-4愛宕東洋ビル (別紙地図参照)

〔プログラム〕

○司会挨拶(午前10時30分)

ペット法学会事務局長 新美 育文

○開会の辞

ペット法学会 理事長 棚橋 祐治

○午前の部 研究報告(午前10時35分より)

テーマ設定の背景と趣旨

コーディネーター

弁護士

吉田

眞澄

1 動物愛護法と科学的知見に関する環境省の姿勢

環境省動物愛護管理室室長

則久

雅司

2 動物愛護法及び愛護行政と科学的知見の役割と課題

国立科学博物館館長

林

良博

3 夜間展示と科学的知見

弁護士

渋谷

寛

— 昼食休憩(午後0時30分頃より) —

午後0時40分より役員会(役員のみ)

午後1時30分よりペット法学会総会(会員のみ)

○午後の部 研究報告とパネルディスカッション(午後2時00分より)

4 8週齢規制と科学的知見(英米の高等教育の対応を含む)

ペット心理行動カウンセラー

佐藤 えり奈

5 犬猫等健康安全計画と科学的知見

帝京科学大学准教授

加隈

良枝

6 マイクロチップシステムの効果に関する科学的知見

龍谷大学准教授

壽崎

かすみ

7 動物愛護法と科学的知見の将来展望

弁護士

吉田

眞澄

8 10分程度の休憩をはさみ16:10ころから報告者によるパネルディスカッション
及び質疑応答

○閉会の辞(午後5時頃終了予定)

○懇親会

学術集会終了後、会場近くにて懇親会を予定しています(会費2,000円)

※会員外参加者は、参加費1,000円を頂きます。

お問合せ先 ペット法学会事務局事務局次長 渋谷 寛

(渋谷総合法律事務所内 電話 03-3354-2291 FAX 03-3226-1870)